

第 4 次東海市ごみ処理基本計画後期計画の進行管理について

1 減量目標について

(1) 一人 1 日当たりのごみの排出量

ア 計画の内容

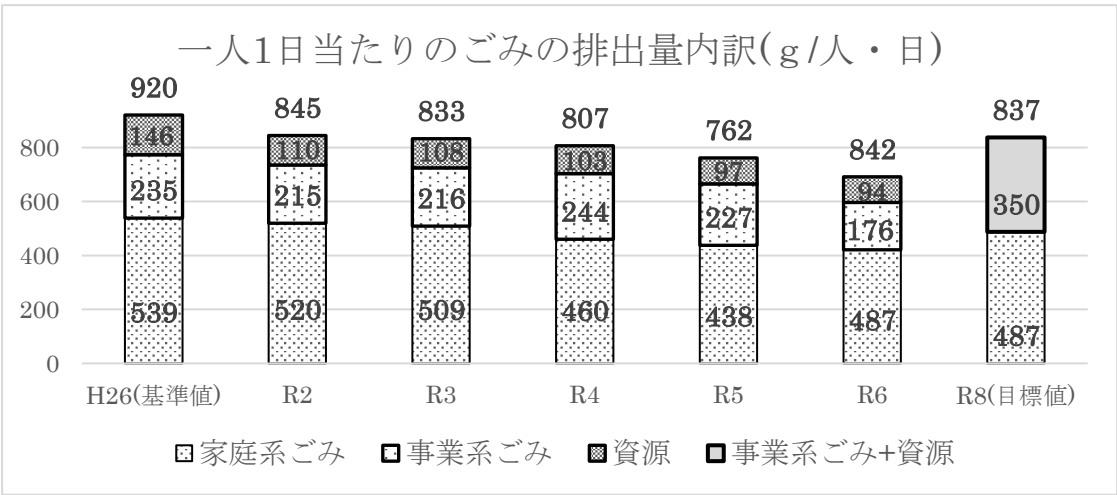
一人当たりのごみの排出量(資源を含む。)は、令和 2 年度 (2020 年度) に
令和 6 年度 (2024 年度) までの目標値 (850 g 以下) を達成したが、目標
値を据え置くこととし、平成 26 年度 (2014 年度) 実績 (920 g / 人・日)
から令和 8 年度 (2026 年度) までに 78 g 削減する。

イ 一人 1 日当たりのごみの排出量(資源を含む。)の推移 (g)

	H26 (2014) 基準値	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R8 (2026) 目標値
一人 1 日当たり のごみの排出量 (資源を含む。)	920	845	833	807	763	691	842

ウ 評価・分析

令和 6 年度 (2024 年度) の一人 1 日当たりのごみの排出量(資源を含む。)
は 691 g となり、昨年度の 763 g からは 72 g 削減した。主な要因として
は、家庭系ごみにあつてはリユース市場の拡大による中古品を再利用する人の
増加及びプラスチック資源の一括回収の定着により、事業系ごみにあつては事
業者に対する民間木材リサイクル施設への草木類の処理の促しにより、それぞ
れ減少したと考える。



(2) 一人1日当たりの家庭系ごみの排出量

ア 計画の内容

一人1日当たりの家庭系ごみの排出量（資源を除く。）は、令和2年度（2020年度）までに目標値（500g以下）を達成できなかったが、引き続き令和8年度（2026年度）までに487g以下に削減する。

イ 一人1日当たりの家庭系ごみの排出量（資源を除く。）の推移 (g)

	H26 (2014) 基準値	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R8 (2026) 目標値
一人1日当たりの家庭系ごみの排出量（資源を除く。）	539	520	509	460	438	421	487

※ 令和4年度（2022年度）から公共施設から排出されたごみを単独で収集するよう見直し、それまで統計上家庭系ごみとして集計されていたものを事業系ごみとして集計したものの。

ウ 評価・分析

令和6年度（2024年度）の一人1日当たりの家庭系ごみの排出量は421gとなり、昨年度からは17g削減した。主な要因としては、リユース市場の拡大による中古品を再利用する人の増加及びプラスチック資源の一括回収の定着により減少したと考える。

【参考】公共回収を実施しなかった場合 (g)

	H26 (2014) 基準値	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R8 (2026) 目標値
一人1日当たりの家庭系ごみの排出量（資源を除く。）	539	520	509	498	479	429	487

2 基本方針に基づく具体的な取組実績及び取組予定について

(1) ごみ分別の啓発

令和5年度 (2023年度) 実績	令和6年度 (2024年度) 実績	令和7年度 (2025年度) 予定
(1) 啓発チラシを作成し、3R活動地域推進員を通して地域での回覧及び掲示を実施した。 (2) 広報及び市ホームページにおいて普及啓発を行った。 (3) 東海なびにより3Rに関する情報を定期的に発信した。 (4) チラシや冊子を作成する際に市ホームページのごみ分別検索の二次元バーコードを掲載した。	(1) イベントを通して市公式LINEアカウントの登録を促した。 (2) 広報にごみと資源の出し方の特集記事を掲載した。 (3) 市公式LINEにより3R及びごみの出し方に関する情報を発信した。 (4) チラシや冊子を作成する際に市ホームページのごみ分別検索の二次元バーコードを掲載した。 (5) イベントの開催に併せて子供服・マタニティウェアのおさがり交換会を実施した。	(1) イベント、チラシ、冊子等を通して市公式LINEアカウントの登録を促す。 (2) 広報にごみと資源の出し方の特集記事を掲載する。 (3) 市公式LINEにより3R及びごみと資源の分別に関する情報を発信する。 (4) イベントの開催に併せて子供服・マタニティウェアのおさがり交換会を実施する。 (5) 3Rの啓発に関するチラシを作成し、3R活動地域推進員を通して地域での回覧及び掲示を実施する。 (6) 10月の3R推進月間に併せて3Rに関する記事を広報に掲載する。

※ ごみ分別アプリ「東海なび」は、令和6年(2024年)6月末をもってサービスを終了し、それ以後は、市公式LINEで類似機能を継続して配信している。

(2) 3010運動を参考にした取組の実施

令和5年度 (2023年度) 実績	令和6年度 (2024年度) 実績	令和7年度 (2025年度) 予定
(1) 広報及び市ホームページにより普及啓発を行った。 (2) 商工会議所の会報誌で3010運動に関する記事を掲載した。	(1) 市公式LINEにより3010運動に関する情報を発信し、食品ロスの削減の啓発を行った。 (2) 商工会議所に3010運動に関する記事の掲載を依頼した。	(1) 市公式LINEにより3010運動に関する情報を発信し、食品ロスの削減の啓発を行う。 (2) 商工会議所の会報誌で3010運動に関する記事を掲載する。

(3) 食べきり・使いきりの推進

令和5年度 (2023年度) 実績	令和6年度 (2024年度) 実績	令和7年度 (2025年度) 予定
(1) 啓発チラシを作成し、東海市3R活動地域推進員を通して地域に普及啓発を実施した。 (2) 広報のごみ特集のページの中で、賞味期限と消費期限の違いに関する記事を掲載した。 (3) 市内保育園で食品ロス啓発紙芝居の読み聞かせを行った。 (4) イベントの開催に併せてフードドライブを実施した。	(1) 啓発チラシを作成し、東海市3R活動地域推進員を通して地域に普及啓発を実施した。 (2) 10月の食品ロス削減月間に併せて食品ロス削減レシピを広報に掲載した。 (3) 市内保育園で食品ロス啓発紙芝居の読み聞かせを行った。 (4) イベントの開催時に資料と合わせて「食品ロス事前チェックシート」を配布し、食品消費行動を見直すきっかけづくりを与える場とした。 (5) イベントの開催に併せてフードドライブを実施した。 (6) イベントにおいて啓発ポスターを掲示した。	(1) 10月の食品ロス削減月間に併せて食べきり・使いきりに関する記事を広報に掲載する。 (2) 市内保育園で食品ロス啓発紙芝居の読み聞かせを行う。 (3) イベントの開催に併せてフードドライブを実施する。 (4) イベントにおいて啓発ポスターを掲示する。 (5) 市公式LINEにより食べきり・使いきりに関する情報を発信し、食品ロスの削減の啓発を行う。

(4) 水きりの推進

令和5年度 (2023年度) 実績	令和6年度 (2024年度) 実績	令和7年度 (2025年度) 予定
(1) 広報及び市ホームページにより普及啓発を行った。 (2) イベントの開催時にポスターの掲示及び来場者に水きりネットの配布をした。	(1) 広報に水切りに関する記事を掲載した。 (2) イベント時に来場者に水きりネットを配布した。	(1) 広報に水切りに関する記事を掲載する。 (2) 市公式LINEにより水切りに関する情報を発信し、ごみの減量化の啓発を行う。

(5) 事業系一般廃棄物の適正処分と資源化の推進

令和5年度 (2023年度) 実績	令和6年度 (2024年度) 実績	令和7年度 (2025年度) 予定
(1) 一般廃棄物収集運搬業許可業者の搬入ごみの展開検査を行	(1) ごみの資源化を促すため、資源化業者等を紹介した。	(1) 事業系ごみの排出方法やリサイクル方

い、排出者への適正排出を促した。 (2) ごみの資源化を促すため、資源化業者等を紹介した。 (3) 事業者の持込ごみを検査し、産業廃棄物混入の防止に努めた。		法を紹介するパンフレットを作成する。 (2) ごみの資源化を促すため、資源化業者等を紹介する。
--	--	--

※ 令和6年（2024年）3月末をもって東海市清掃センターでのごみの受入れを終了したため、それ以後の一般廃棄物収集運搬業許可業者の搬入ごみの展開検査の実施及び産業廃棄物混入防止については、西知多クリーンセンターで継続して実施しているもの。